# 平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

| 教科 | 理科 | 科目 | 化学基礎 | 単位数 | ２ | 開講学年 | ２学年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 学習概要および学習目標 | 科学と人間生活で取り扱った化学分野を踏まえた上で、化学的な事象について、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 |

| 期間 | 単元（学習内容） | 学習の到達目標 | 自己評価欄 |
|---|---|---|---|
| １学期期末まで（１５時間） | 第Ⅰ章　物質の構成<br>第１節　物質とその構成要素 | ●原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解できた。<br>●元素の周期律及び原子の電子配置を周期表の族や周期との関係について理解できた。<br>●放射性同位体の活用方法を理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ２学期中間まで（１４時間） | 第Ⅰ章　物質の構成<br>第２節　化学結合 | ●イオンの生成を電子配置と関連付け、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解できた。<br>●共有結合を電子配置と関連付け、分子からなる物質の性質を理解できた。<br>●金属の性質及び金属結合を理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ２学期期末まで（１３時間） | 第Ⅱ章　物質量と化学反応式<br>第１節　物質量と化学反応式<br>①原子量<br>②分子量・式量<br>③物質量と粒子の数<br>④物質量と質量<br>⑤物質量と気体の体積 | ●物質量と粒子数との関係について理解できた。<br>●物質量と質量との関係について理解できた。<br>●物質量と気体の体積との関係について理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |
| ３学期期末まで（１２時間） | 第Ⅱ章　物質量と化学反応式<br>第１節　物質量と化学反応式<br>⑥溶解と濃度<br>⑦化学反応式<br>⑧化学反応の量的関係<br>第３節　酸化還元反応 | ●化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見出して理解できた。<br>●酸化還元反応が電子の授受によることを理解できた。<br>●イオン化傾向の違いや、電池の基本的な仕組みについて理解できた。 | 取組　ＡＢＣＤ<br>理解　ＡＢＣＤ<br>関心　ＡＢＣＤ |

| | |
|---|---|
| 使用教材<br>参考図書 | 高等学校改訂新化学基礎（第一学習社） |
| 学習方法 | ①授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。<br>②疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印をつけておくこと。<br>③疑問点の解決を目指し授業に参加すること。<br>④授業で作成したノートを使って、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。 |
| 評価方法 | ①毎時間の「ノート」、「ワークシート」、「質問カード」、「出席状況」を成績に入れます。<br>②実験時の「実験に取り組む態度」、「実験操作」、「実験結果の考察」を成績に入れます。<br>③単元ごとに行う「単元テスト」の結果を成績に入れます。<br>④単元ごとに課す「レポート」を提出してもらい、内容に応じて成績に入れます。<br>⑤毎学期の「定期考査」の結果を成績に入れます。 |